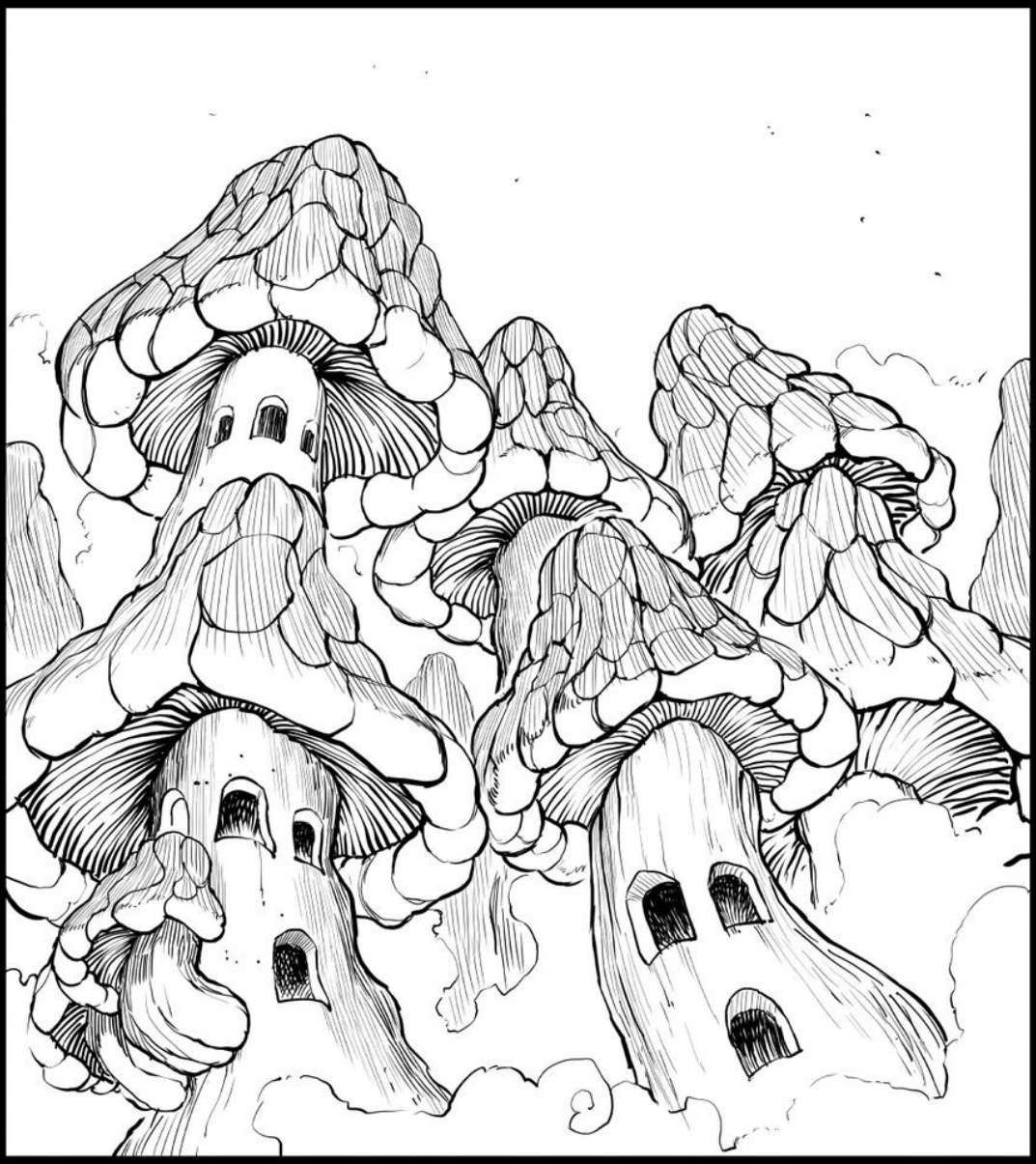
エルフの里へようこそ

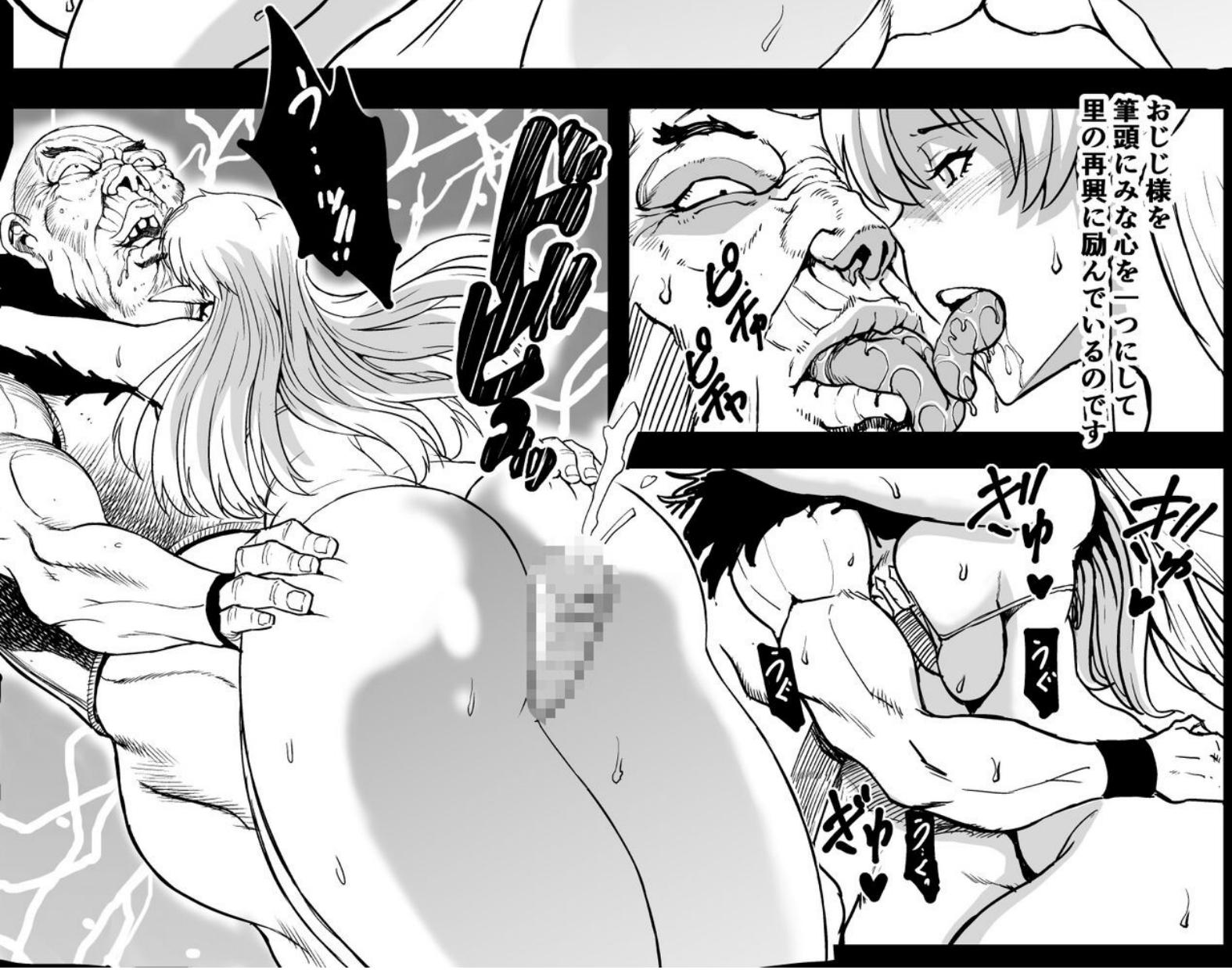


人里離れた森深く・・
一部のギルドハンターたちの
間である噂が流れていた

ガチャ
はじめまして
ユウナです
今日は
ご指名ありがとう
ございます
ま・まさか
本当にある
なんて正直
信じられ
なかったよ
エルフの抱ける店
なんて
まだ
夢見てる
みてぇだ
私はユウナ
むっちん
プリン
ふふ・
これでもまだ
夢だとお思い？
ヒタ・・
おお・・

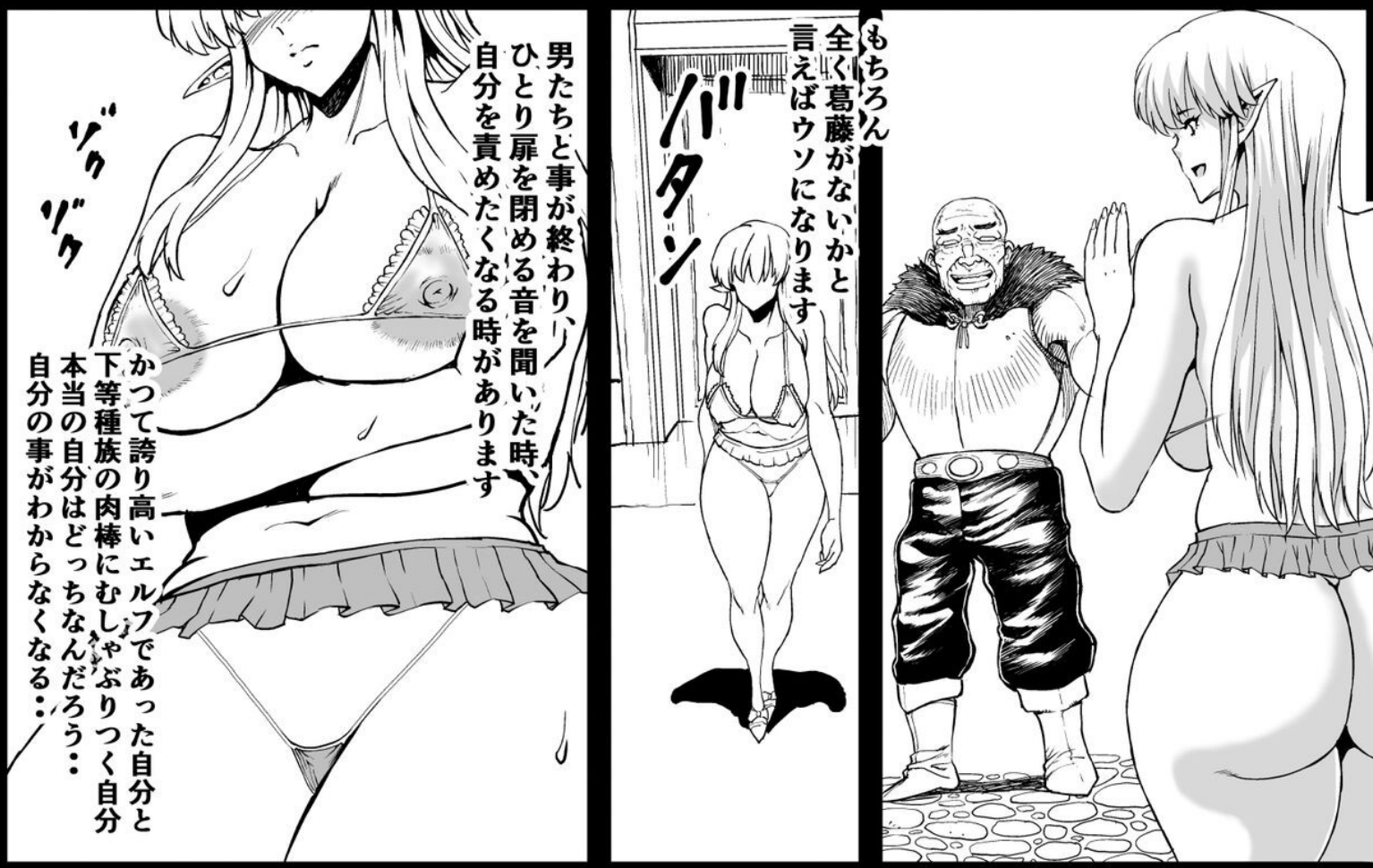
時間までたっぷり堪能してくださいね
エルフって俺たちの考えも及ばないような難しい事考えてそうだけど
意外とエロい事とか考えてんのか？
おひょー♥
スリ
スリスリ
もちろんですわ
カチャ
カチャ
パサッ
わたしたち種族は違えどオスとメス・・・
ビク
ここはいつも求めてますわ
パカ
ギュ♥

むにん
かつては
下等な種族と見下して
いた者たちとの
まぐわいは最初はとても
抵抗がありました
むにん
でも里は今
急激な過疎化に伴い
窮地に陥っています
わがままは言ってられません
ん♥
ん♥


おじじ様を
筆頭にみな心を一つにして
里の再興に励んでいるのです
ぎゃ♥
ぎゃ♥
ぎゃ♥
ぎゃ♥
う…!!
ぐぐぐ…

あはいっぱい出しちゃいましたね
今度はベッドでゆっくり楽しみましょう
あなたの好きなシチュエーションで
お・・俺の？
それにむさ苦しい男たちも一度肌を重ねるとそれまで味わったことのない感情を発見出来たりするものです
ちゅっぶ
ちゅぱちゅぱ
ジボ
ジボ
ジボ
ジボ

牢での義妹たちとの生活のせいでしょうか
それともこの里にはびこっている不思議な植物のせい？
真実はどうあれ私の中に自分じゃない何かがいるような気がした
はぁ
はぁ
ギシ
フッ
ギシ
フッ
ギシ
ユ・ユウナちゃん！うッ…!!
ビクッ
プルル…


もちろん全く葛藤がないかと言えばウソになります
バタン
男たちと事が終わり、ひとり扉を閉める音を聞いた時、自分を責めたくなる時があります
ゾクゾク
かつて誇り高いエルフであった自分と下等種族の肉棒にむしゃぶりつく自分
本当の自分はどっちなんだろう・・
自分の事がわからなくなる・・

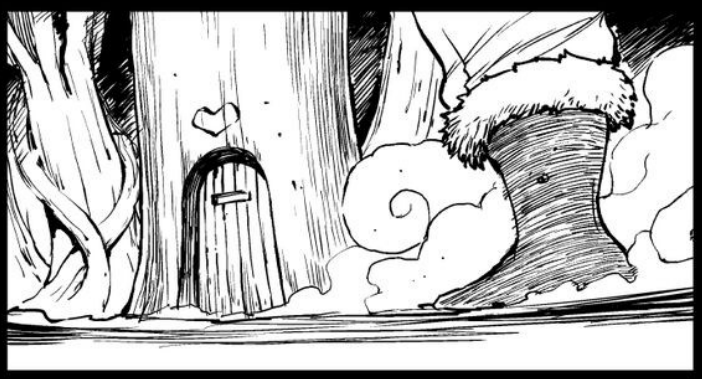
でもそんな事考える時間も長くはありません
わ♥
キュゃ♥
ムニュ♥
傍にはいつも義妹(いもうと)たちがいるから

待機している間も私たちは…いつも一緒
一時の不安も
彼女たちと一緒にいるときは
忘れさせてくれる
ピチャピチャ
ムニュ
クチュ
ピチピチ
クリクリ
キュ
プロォン
おねえさまの舌…やわらかくておいしい…♡
おねえさまもと舌だしてぇん♡
フフ…ピチピチ音たてて…もう濡れてる♡

この子
ホントお姉さまの
お尻の穴が好きね
あぅ
ビクン
ブルルルルン
ビチャ
ビチャ
ビチャ
ビチャ
プリン
プリン
ビチャ
ビチャ
ビチャ
ズズズズ
ちゅぶ
キュウウン
あぁう
あぁ
イくぅ…ぅ
キュウウウウウウン
ビクッ
はっ
はッ
ピチュ
ピチュ
ズズゥゥゥゥ
グググ
アァ
アァァ
ゲグ…
ニュ

その夜

今夜のお客様はおじじ様が特にごひいきにされてるVIP客よ
念入りに準備しておきましょうお姉さま
ピュッ
ピュッ
ピチャ
ピチャ
ピチャ
ピチャ
ガク
ガク
ガク



しばらく見ねぇうちにこの辺りも賑やかになったな
あの長老自分の村の娘たちを商品にして随分と儲けてるそうじゃねぇか
ガチャ
ギ
ギ
ギ
いくら村の危機とはいえイカれた事考えてやがるギ
へへ…まあいいじゃねぇかそのお陰で俺たちもこうやって堂々とエルフの村に足踏み込めるんだからよ

ズ
ズウウウン
邪魔するぞ

遠いところからお越しいただきありがとうございます
いらっしゃいませ♥
今宵は極上の三人をご用意いたしましたのでごゆっくりお楽しみください

・まさかドワーフたちとも中出しセックスするなんて昔の自分からは想像もできませんでした
ヒック
ヒック
ドキン
ドキン
ドキン
いつも酒臭く不潔で嫌悪感しかなかった存在
プハァ
でも今はどこかで期待している自分がいる
わん
わん

外見は申し分ねぇが…
さてサービスの方は
いかがなものかな
お望みとあれば
なんでもサービス
させていただきますわ
くく…
それでは部屋で
ゆっくりこのよく働いた
足を舐めてもらおうか
はい
喜んで
おじじ様
本当に大丈夫で
しょうか？
やつら
なかなかに
乱暴無礼で
有名ですが…
心配いらん
わい
奴らが里にとって
いかに大切な客か
ユウナもよく知っておる
ムッ
最近随分と大物を
掘り当てたという
噂は本当だったよう
じゃな
見てみい
この高純度
ミスリルの山
種族間の
いざこざなど
昔の話・
スリ
スリ
これからは持ちつ
持たれつでいかんとのぅ
その為にも
彼女たちには
存分に働いて
もらわんと…
それでは
失礼します
ぴちゃ
ペロ
ペロ
ペロ
はふ
はふ
ペロ
ペロ
ペロ
へっへ・・
本当に舐め
やがったぜ

ちゅぷ
ピチャピチャ
ペチャ
くちゅくちゅ
ん
ぱぁ
ア
と・・とっても香ばしくておいひい・・れふ
んっ
ちゃぱ
この足で稼いだ銭でお前らを買ってやってるんだからよ
そうかそうか感謝の気持ちでしゃぶれよ
カシラぁ・今日は大所帯だもうイレるぜ
おいみろよコイツ・・もうしめってきてるぜ
グイ
ああ存分に楽しんでくれ
ボフォ

ジュポ
ギチ
ヒッ
ウッ
ウッ
くぅ…しまるッ…うおおっ!!
ジュポ
ギチ
クッ
ブルン
ブルン
ギシ
ギシ
あひッ
あひッ
あひッ
あひッ
ギュポ♡
ギュポ♡
エルフまんこたまんねぇ
はっ
はっ
ウリッ
ウリッ
ウリッ
ウリッ
ギュポ♡
ああああ
ズ
ぢゅーー
おっ
オ
穴が足りねぇな口ん中でもシコらせてもううぜ へへ

おッおぐ
グッ
ゲッ
ゲッ
んぐ…
ンゴォ
オホホ…
あぁ気持ちえぇ…
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ビクッ
ビクッ
ビク

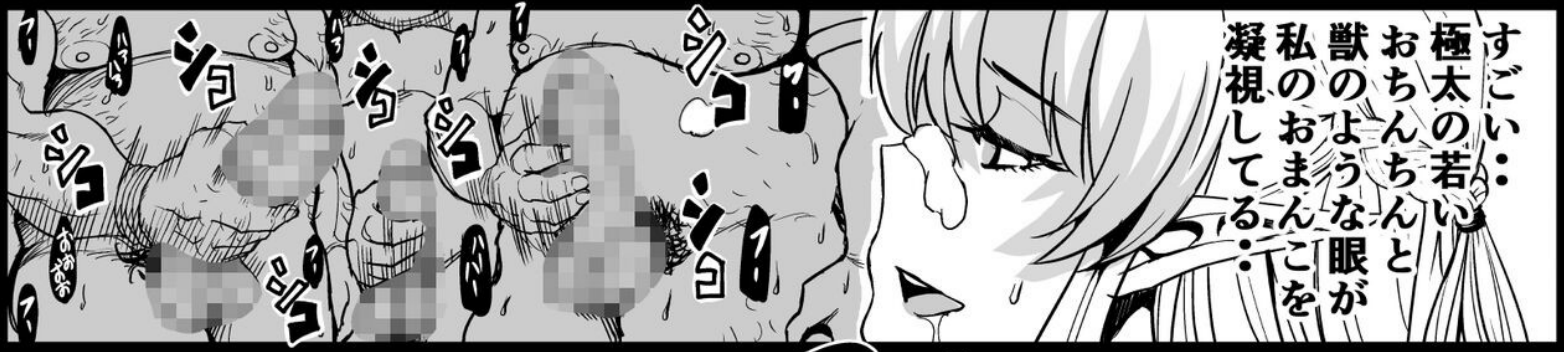
ホレ高級エルフ嬢のケツ穴だ存分に注いでやれ

ビビビッ!!
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ブクブク
コポォ
ボボ
ヒュ
ボボ
ヒュ
ボボ
ヒュ
ボボ
ヒュ
ボボ
ヒュ
あ
あ

ぷるん
ぷるん
ぷるん
ぷるん
おおおお

ハッ
ハッ
あヒッ
あヒッ
あヒッ
ギュポ
ギュポ
ギュポ
ぷるん
ぷるん
ぷるん
ぷるん
ぷるん
あ…くっ、イッ…イキそうだ…
あ!
はあぅん♡
クリ
クリ
イッく…でる…でる…でるぅ!!
また入ってきた…
あヒッ
あヒッ
ヒ
ビ
ク
ア
ア
ア

今日は子分たちも連れてきてるからよぉ
まとめて面倒みてやってくれるかな
ぼくぁ
トロォ!!
ほら オメェたち 好きなだけ発射せ

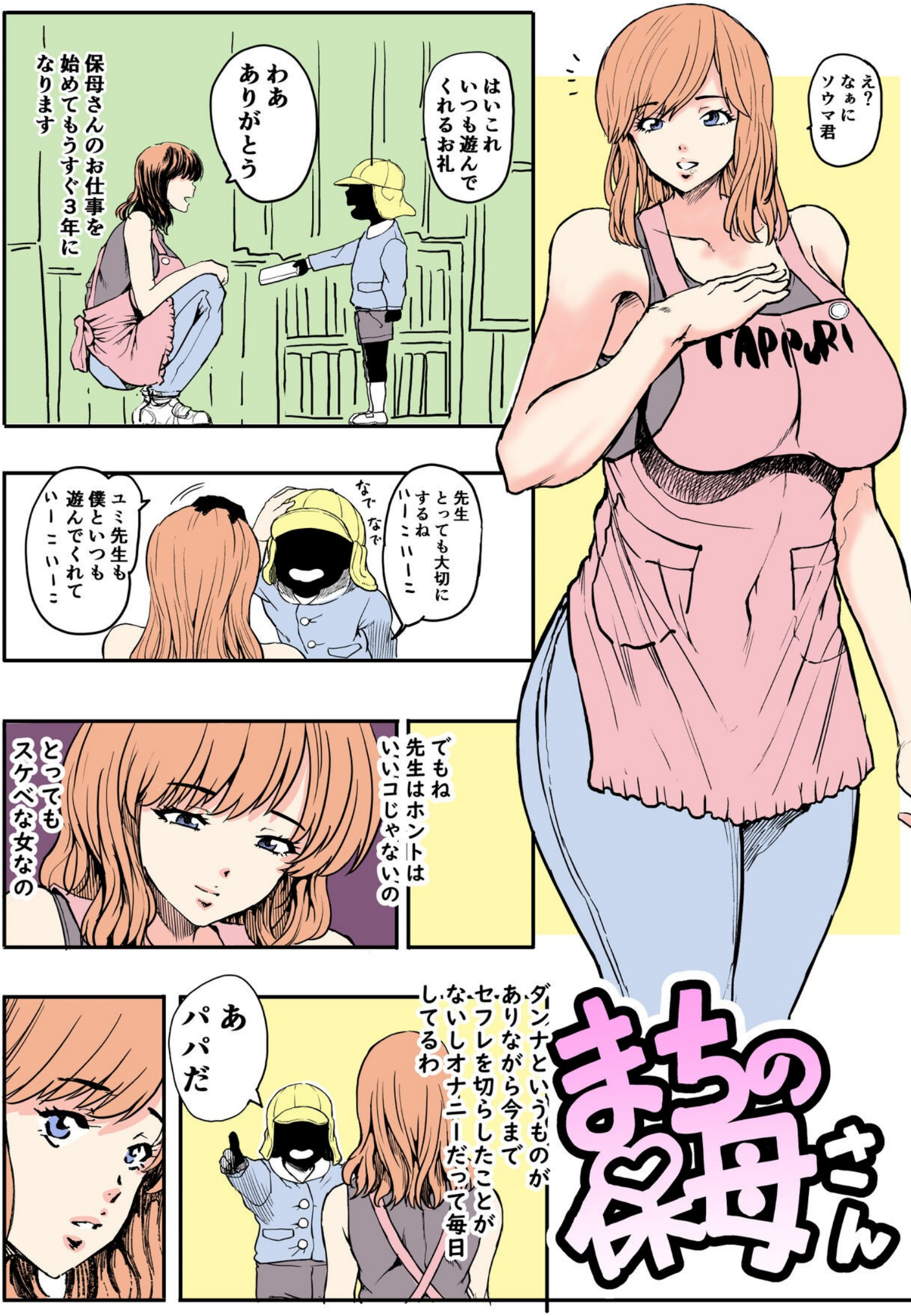

すごい・・・極太の若いおちんちんと獣のような眼が私のおまんこを凝視してる・・・
シコ
シコ
シコ
シコ

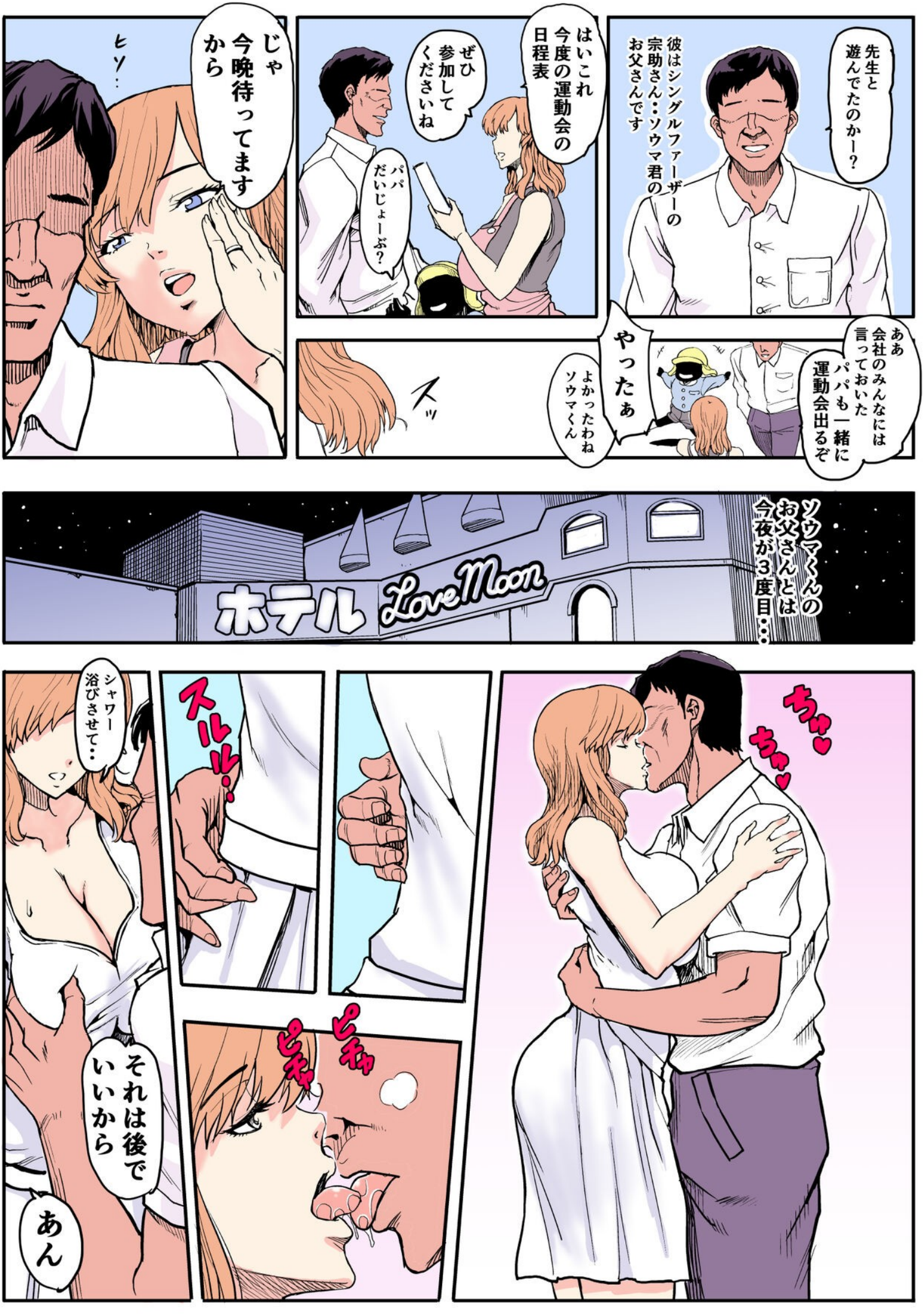
これから…ここにたっぷり注がれるんだわ
にぇ
溢れんばかりたっぷり…
オレが一番乗りだぜ
ずっとガマンしてたのね
さ ここに全部ブチまけて
ドキ
パク
シコ

ズッ
ズッ
ゴックン
ゴックン
ビクッ
ビクッ
キュッ
ドロォ
くはァ…キモチイイ…
ヒュー
ヒュー
ヒュー
あはぁ いっぱいでたぁ
よオし じゃあ口でそうじしてもらってから次の奴に替わりな
ゴポォ
トロロ…
ドプ
ドプ
ジュル
ジュル
あぐ…
おぐ…
おぐ…
よし、次はオレだ!!
ズプゥ
あぁ…

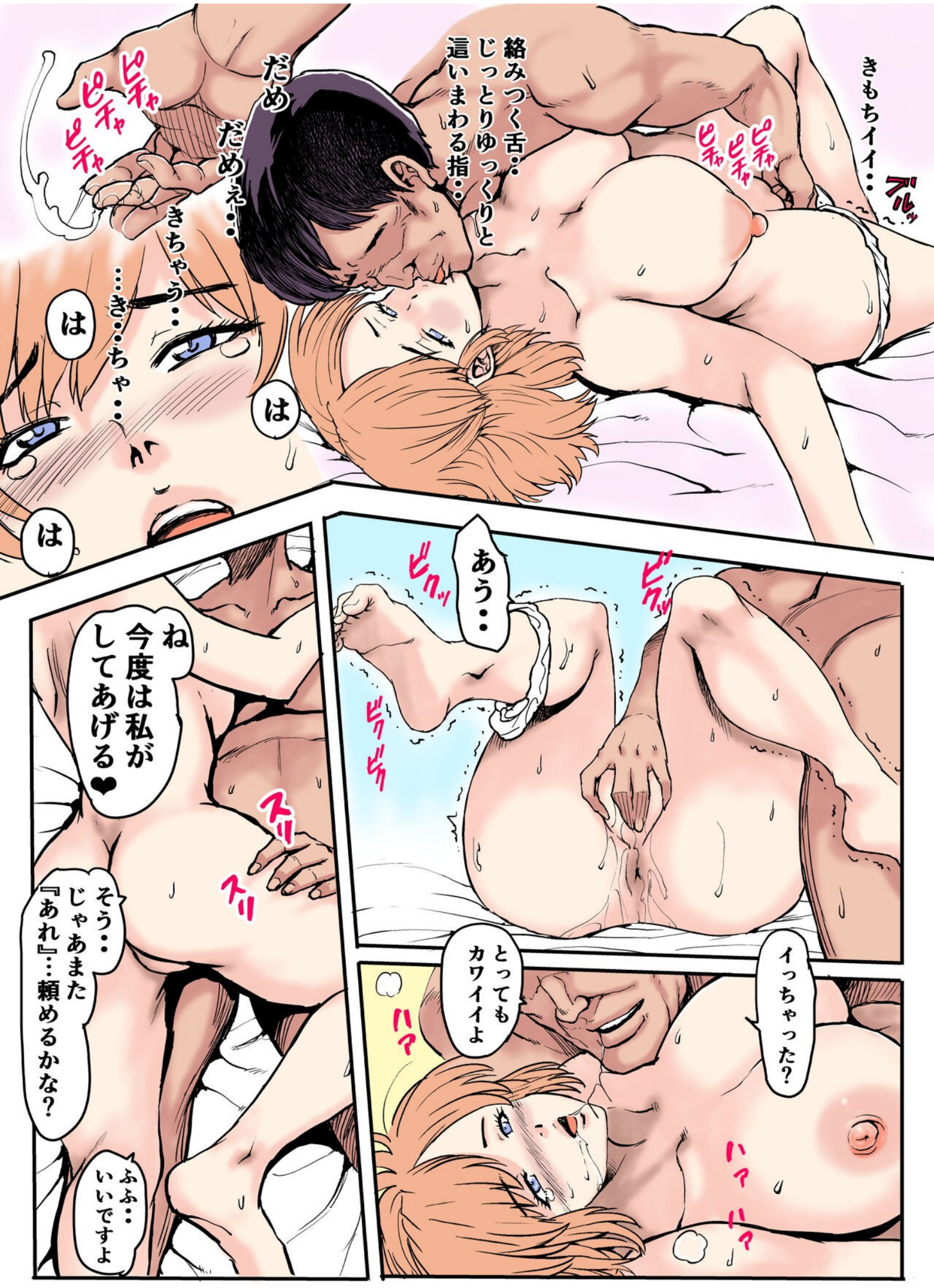
シコシコ
ドクドク
ビク!
ビクン
ビクビク
ブルル・・
ビクン
ビクビク
ビクン
ビクン
ドキドキ
ドキドキ
シコシコ
お・・オレ
はじめてなんだ
・・だから・・その・・

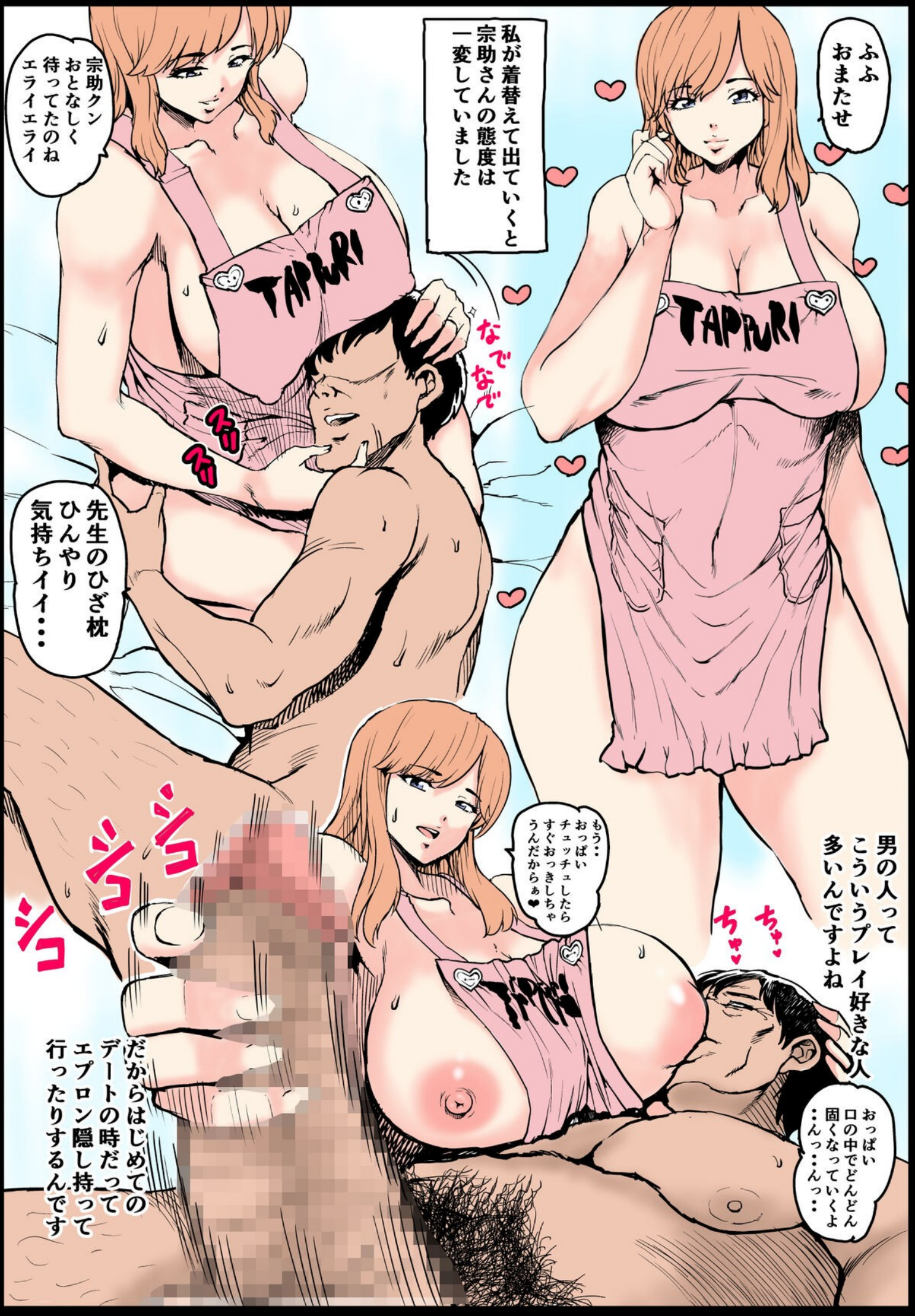
大丈夫
リラックスして
ちゅっ
ちゅぱ
私が導きますから
ジュポッ
盛り上がってるようですな
キン
キン
これでまた噂が噂を呼び更なる上客を呼んでくれるじゃろう
しかしたっぷりと出されてしまいましたな
ブシュ
ブシュ
ブシュ
ハァ
ハァ
ハァ
これはひょっとしてドワーフのやや子をこさえてしまうかもしれませんね
よろしいんですか？
里の神がそれを望むのならそれもいたしかたあるまい
ちゅぱ
ちゅぱ
ハァ
ジュポ
ジュポ
ハァ
ジュポ
で…
でる…
でる…!!
ドドド


え？
なぁに
ソウマ君
TAPPURI
保母さんのお仕事を
始めてもうすぐ3年に
なります
わあ
ありがとう
はいこれ
いつも遊んで
くれるお礼
先生
とっても大切に
するねー
なでなで
ユミ先生も
僕といつも
遊んでくれて
いーこいーこ
でもね
先生はホントは
いいコじゃないの
とっても
スケベな女なの
ダンナというものが
ありながら今まで
セフレを切らしたことが
ないしオナニーだって毎日
してるわ
あ
パパだ
まっちの保母さん

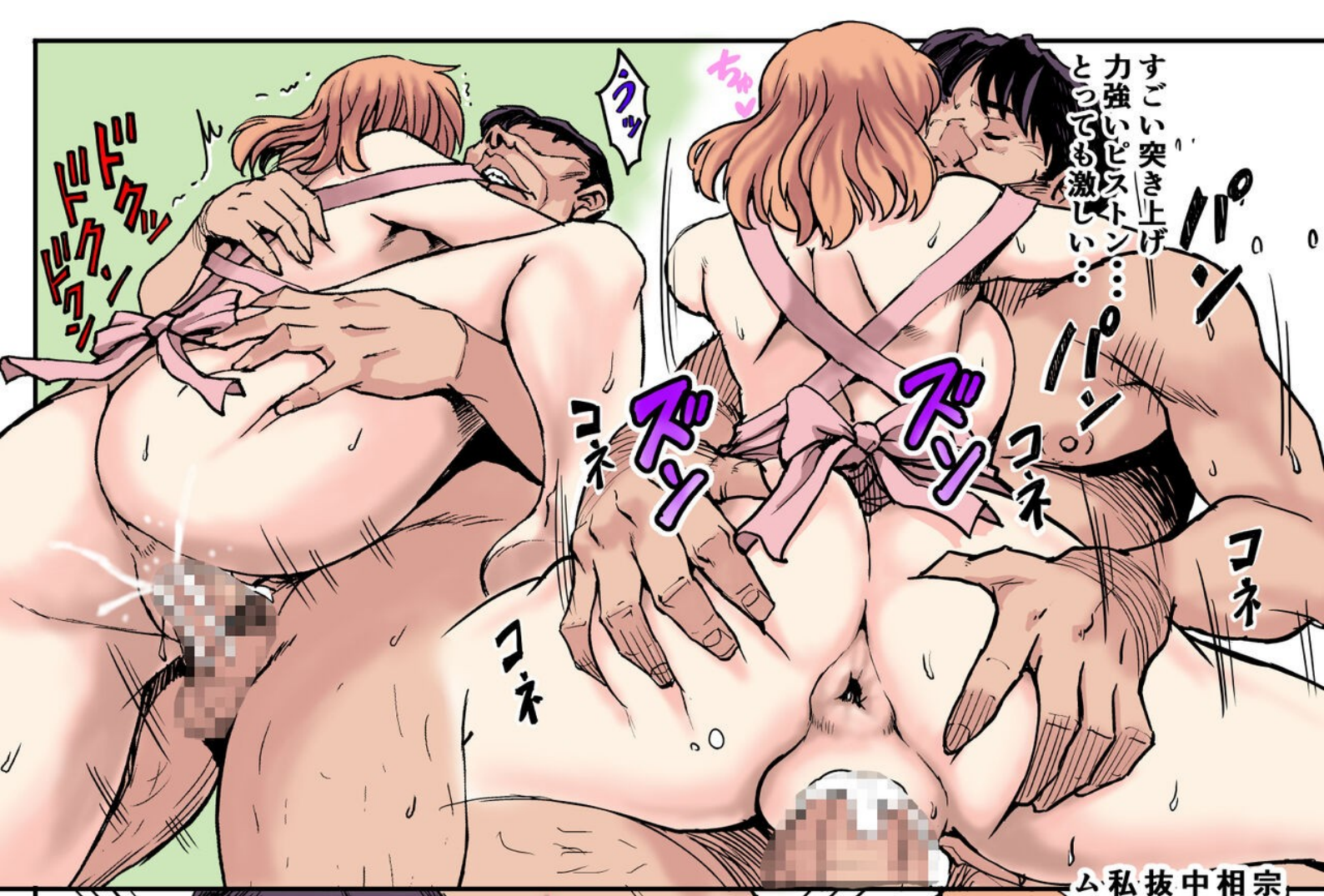

先生と遊んでたのかー？
彼はシングルファーザーの宗助さん・ソウマ君のお父さんです
ああ会社のみんなには言っておいたパパも一緒に運動会出るぞ
やったぁ
よかったわねソウマくん
スッ
はいこれ今度の運動会の日程表
ぜひ参加してくださいね
パパだいじょーぶ？
じゃ今晩待ってますから
ヒソ…
ソウマくんのお父さんとは今夜が3度目…
ホテル Love Moon
ちゅ♥
ちゅ♥
スルル…
シャワー浴びさせて…
それは後でいいから
ピチャ
ピチャ
あん

宗助さんの濃厚キスとやさしい指使い…
それだけで欲求不満の私のカラダはトロけてしまいそうになってきます
もう感じてきたのかな？
だって最近ダンナがかまってくれないんですもの
それはもったいない！
こんな美味しそうなカラダを放っておくなんて…
ムチムチの上にとっても敏感だというのに
アユミ先生がこんなスケベな先生なんて本当に意外だったよ
濡れてるねパンティの上からでもわかるよ
宗助さんとっても上手だから…それに…
ん
んっ


きもちイイ・・
ピチャピチャピチャ
ブルッ
絡みつく舌・
じっとりゆっくりと
這いまわる指・
だめ
だめぇ・・
ピチャピチャピチャ
きちゃう・・
・・・き・・ちゃ・・
は
は
は
あう・・
ビクッ
ビクビク
イっちゃった？
とってもカワイイよ
ハァ
ハァハァ
ね
今度は私がしてあげる❤
スリスリ
そう・
じゃあまた『あれ』・・頼めるかな？
ふふ・
いいですよ

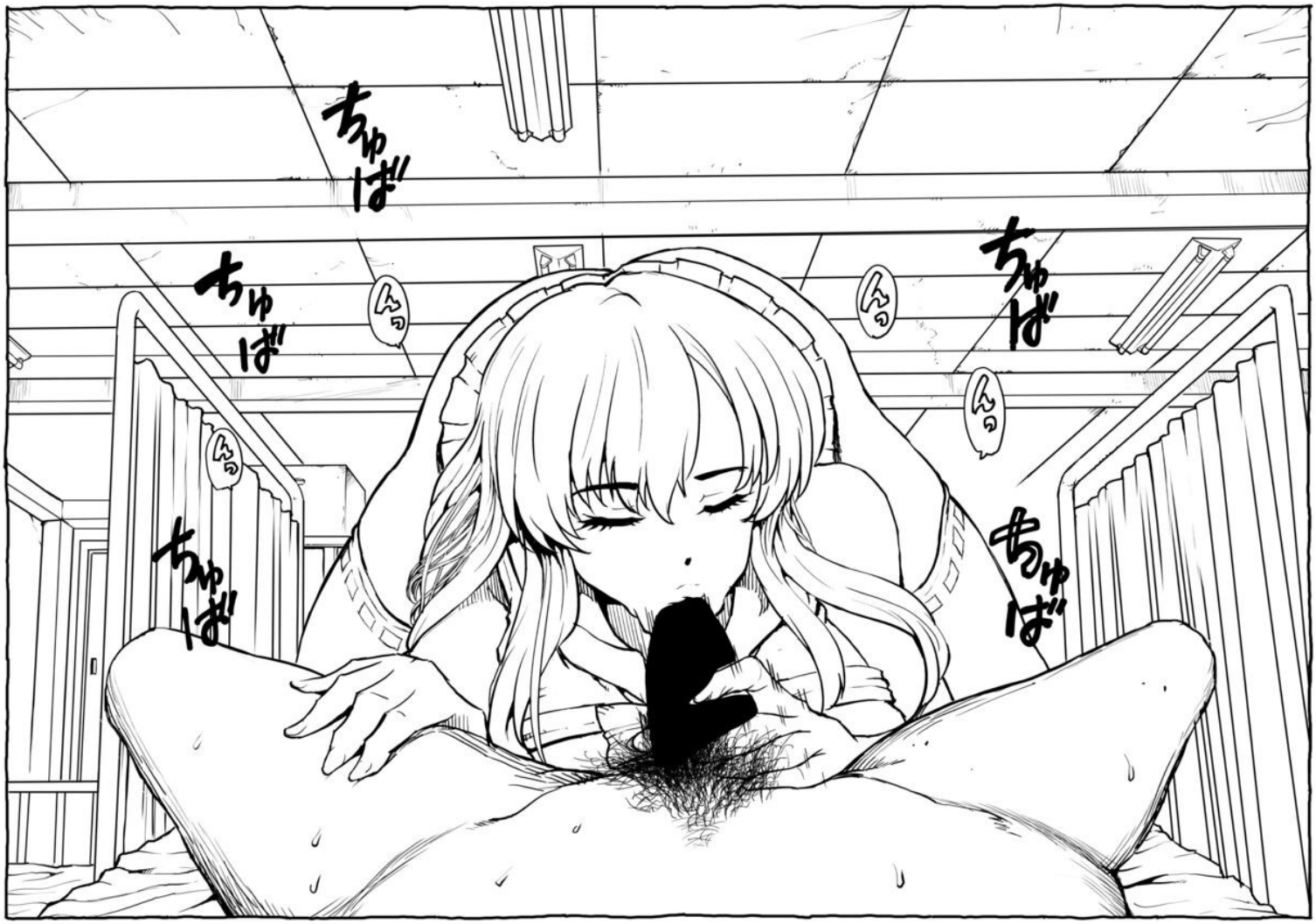

ふふ
おまたせ
私が着替えて出ていくと
宗助さんの態度は
一変していました
宗助クン
おとなしく
待ってたのね
エライエライ
なでなで
なでなで
先生のひざ枕
ひんやり
気持ちイイ・・・
男の人って
こういうプレイ好きな人
多いんですよね
ちゅ♥
ちゅ♥
もう・・
おっぱい
チュッチュしたら
すぐおっきしちゃ
うんだからぁ❤
おっぱい
口の中でどんどん
固くなっていくよ
・・んっ・・んっ・・
シコ
シコ
シコ
だからはじめての
デートの時だって
エプロン隠し持って
行ったりするんです

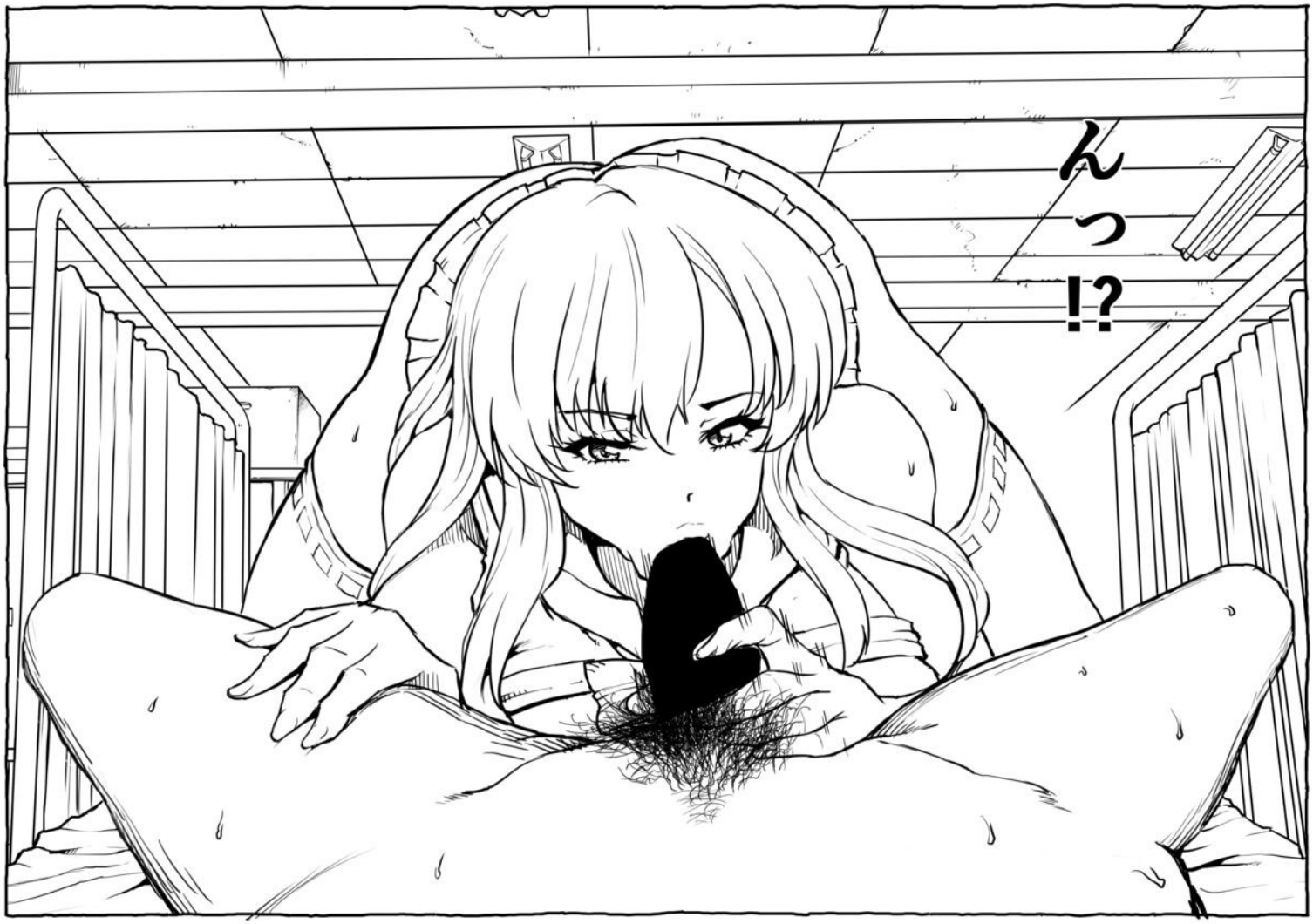
コスプレしてエッチしてると普段見せない顔を見せてくれたりするんですよね
レロン
レロン
宗助クン・・さっきからずっとおっぱいにむしゃぶりついてる・・
この無邪気なカオも私にしか見せてくれない表情・・とっても愛おしい・・
せ・・せんせぃ・・もうガマンできない・・
入れるよ
うん先生のおまんこの中かき回して・・
ピチ
ピチ
ダンナより太くてたくましいおちんちん・・
ちゅ♥
ズンと膣に入ってきます
パン
ああぅ・・ぎゅうぎゅう・・
パン
パン
パン
パン
パン
パン
へへ先生・すごいマン汁だねすんなり入っちゃった
いやん言わないで宗助さん


すごい突き上げ
力強いピストン…
とっても激しい…
パン
パン
ズン
ズン
コネ
コネ
コネ
ちゅ♥
ウッ
ドクッ
ドクン
ドクン

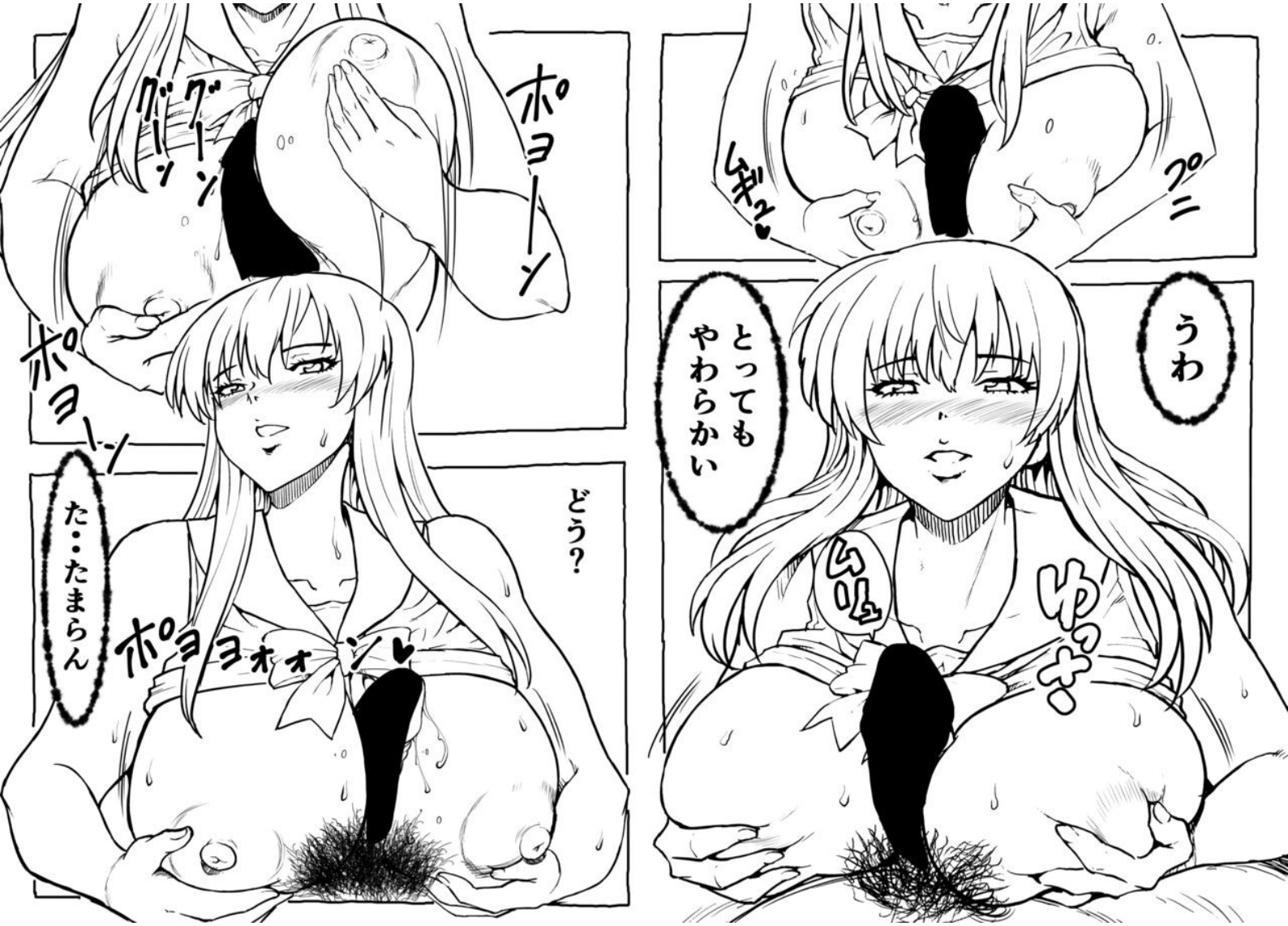
宗助さん
相当たまってたみたい…
中で発射しても
抜くことも忘れて
私のおっぱい夢中で
ムシャぶりついて…
ちゅっぱ
ちゅっぱ
そうこうしてる間に
また中で勃ってきて…
ああ・
今晩は長い夜になりそう
ギン
アユミ先生!!
二回目
いくよ!!
・うん
おちんちんで
もっとイジめて・

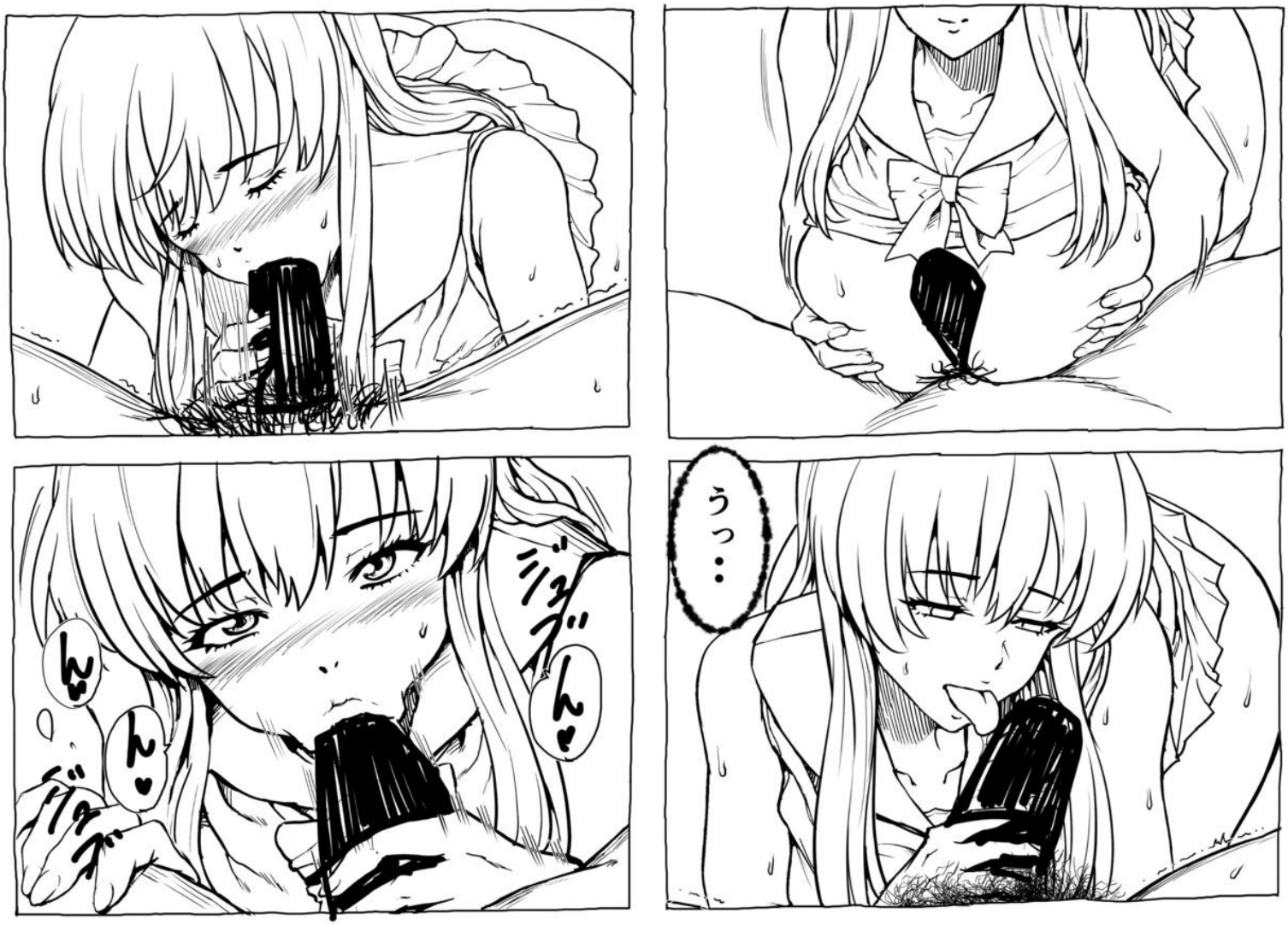
アユミ先生やっぱり淫乱だったんだね
あんそうなの先生はチンポ狂いの変態女なの
ギシ
ブルン
ブルン
ズチュ
ズチュ
ブルンブルン
もっと宗助くんの極太チンポでおしおきしてぇ
よぉしじゃあダスよ！今度はエプロンに・・
ギシ
出してぇいっぱい出してぇ
あぁ！
結局その日は明け方まで何度もエッチしちゃいました
ドピュッ
ドクッドクッ
ダンナにはなんて言い訳しようかしら・・
翌日
でも今日くらいはオナニー我慢できそうです
はーい
TAPPURI
きゃっ
きゃー


ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
んっ
んっ
んっ


んっ
!?

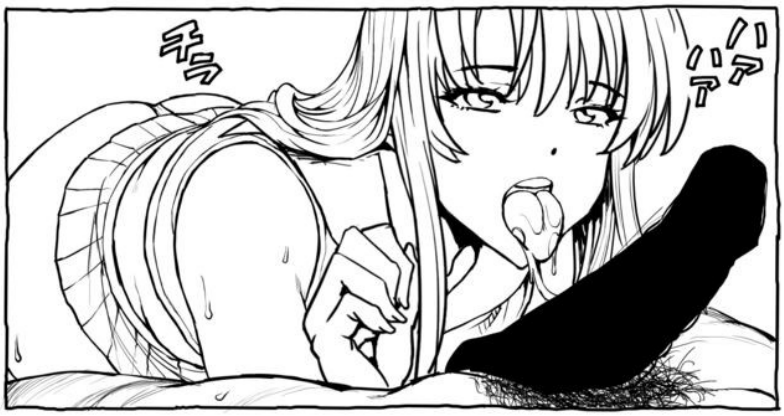
あら
タプ
気が付いちゃったぁ？
タプン
ま
仕方ないわね
こっちも禁欲生活続いてたの
グッ
ふたりで楽しみましょ？
ポヨン


うわ
とっても
やわらかい
ムニュ
プニ
ゆっさ
ムニュ
どう？
た・・たまらん
ポヨヨオォォン
ポヨーン
グーン
グーン
ポヨーン


うっ・・・
ジュブ
ん♥
ん♥
ん♥
ジュブ

ちゅぷ
じゅぼ!!♥
じゅぼ!!♥
ハァ
ハァ
ハァ
ちゅ♥

じゅぼ
じゅぼ
じゅぼ


チラ
ハァハァ

んっ
んっ

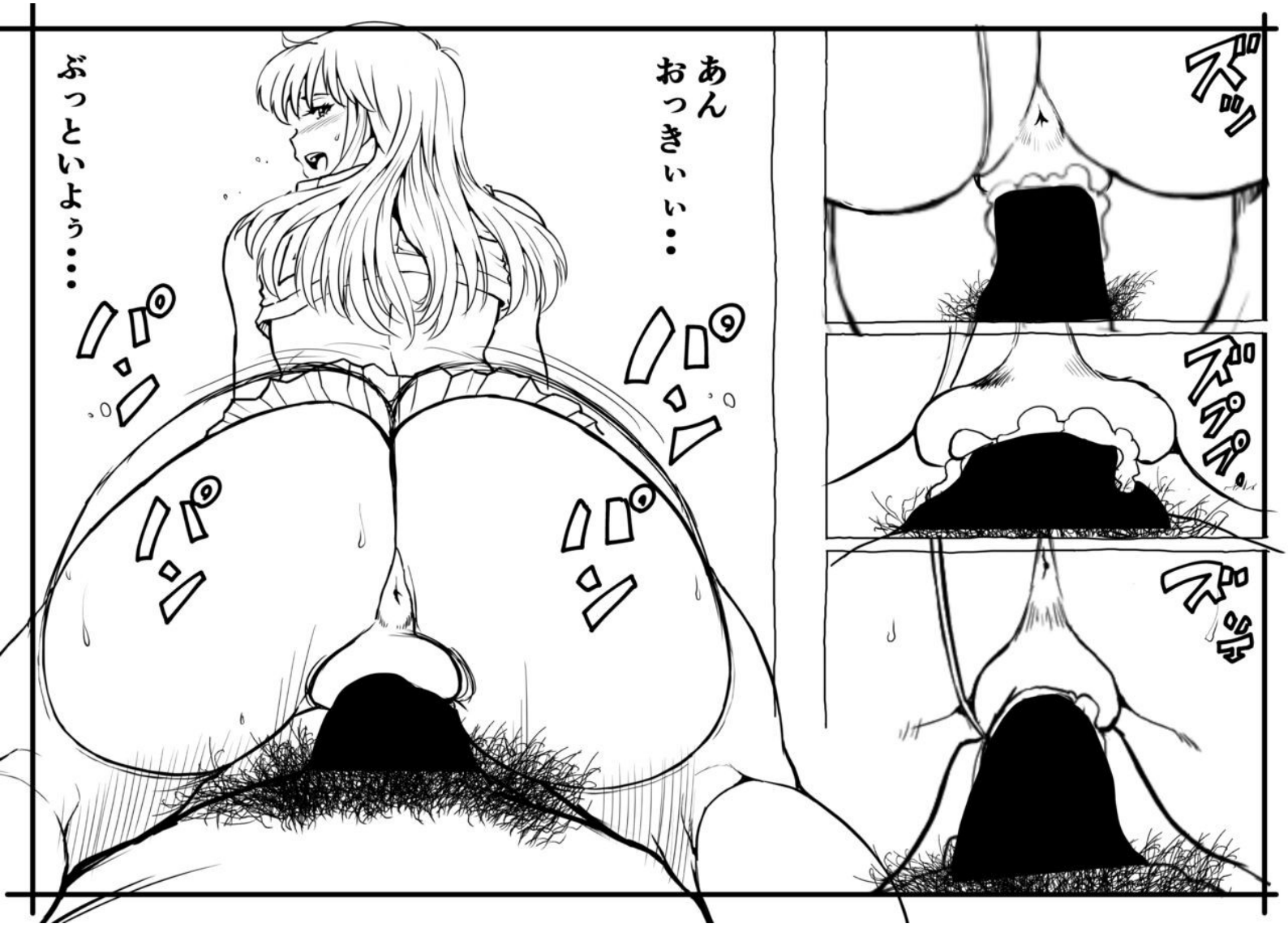
レロレロ
んふふ
ハム
ちゅ♡
プニュ

うわ
いっぱいかかっ
ちゃったぁ
んっ
ジュブ
ジュブ
ジュブ
ドピュ
きゃっ

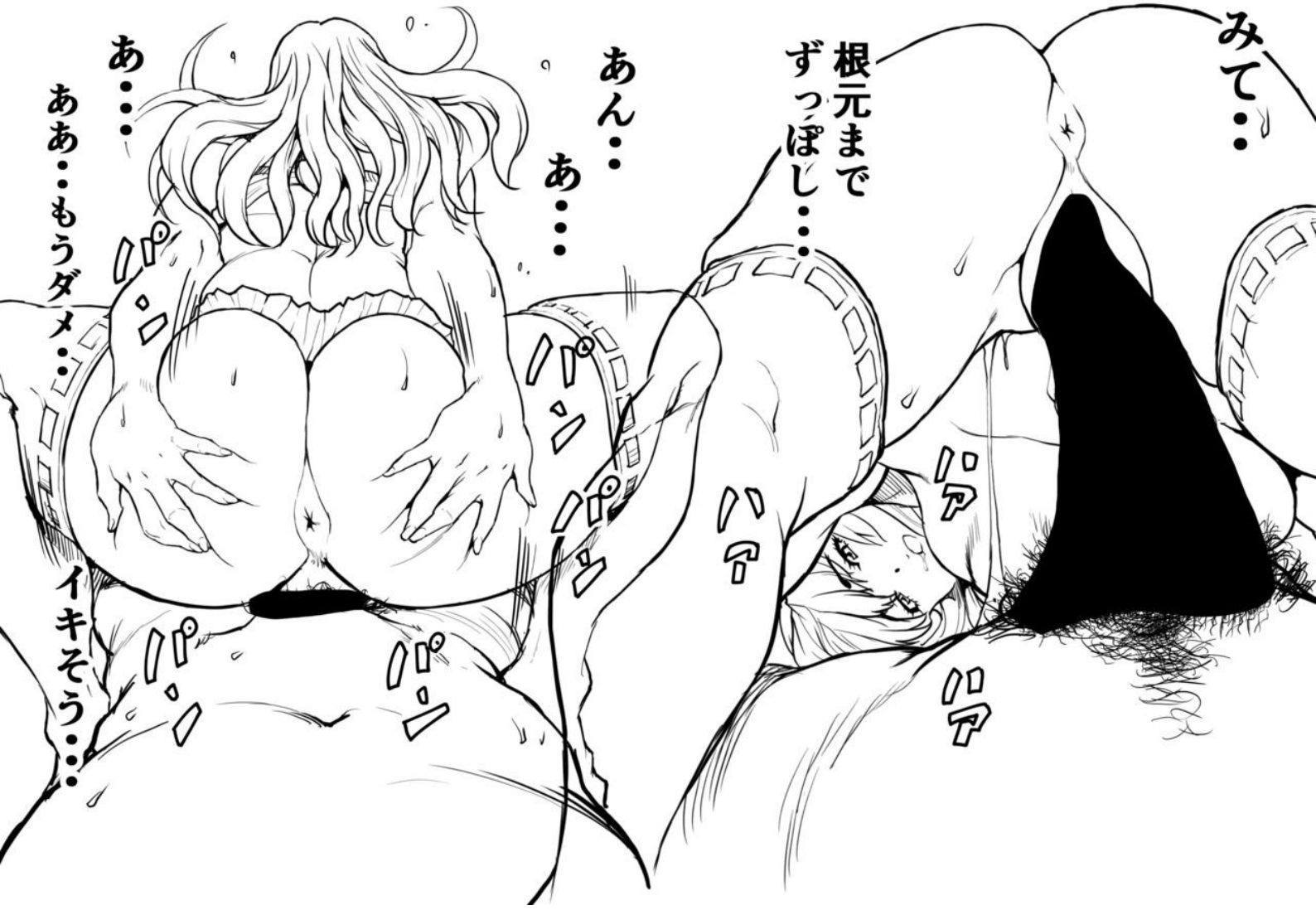
そろそろ
イれていいかなぁ

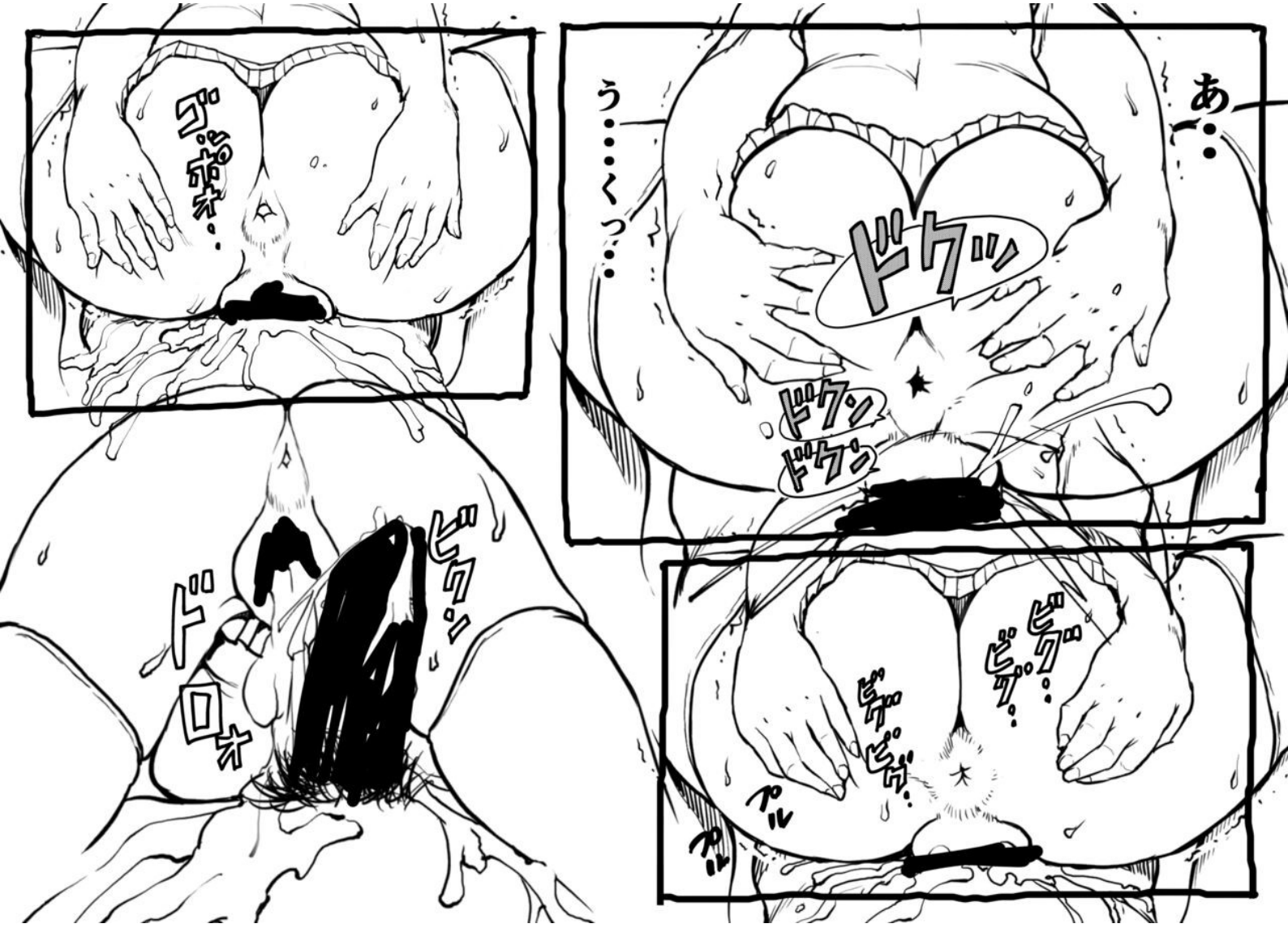
キレイにしてあげるね

こっくん

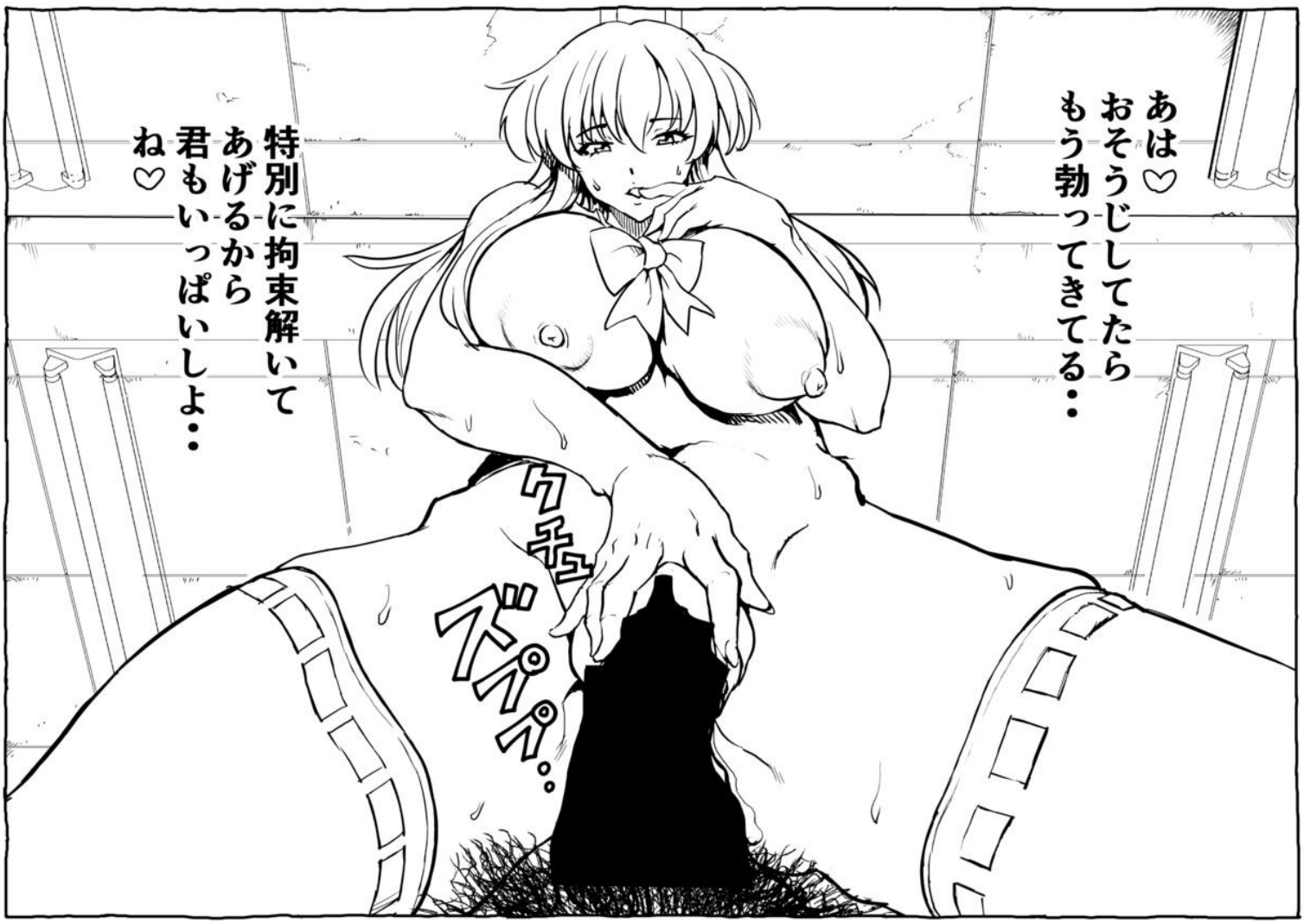

ズッ
ズポ。
ズポ
あん
おっきぃぃ・・
ぶっといよぅ・・・
パ
パ
パ
パ
パ

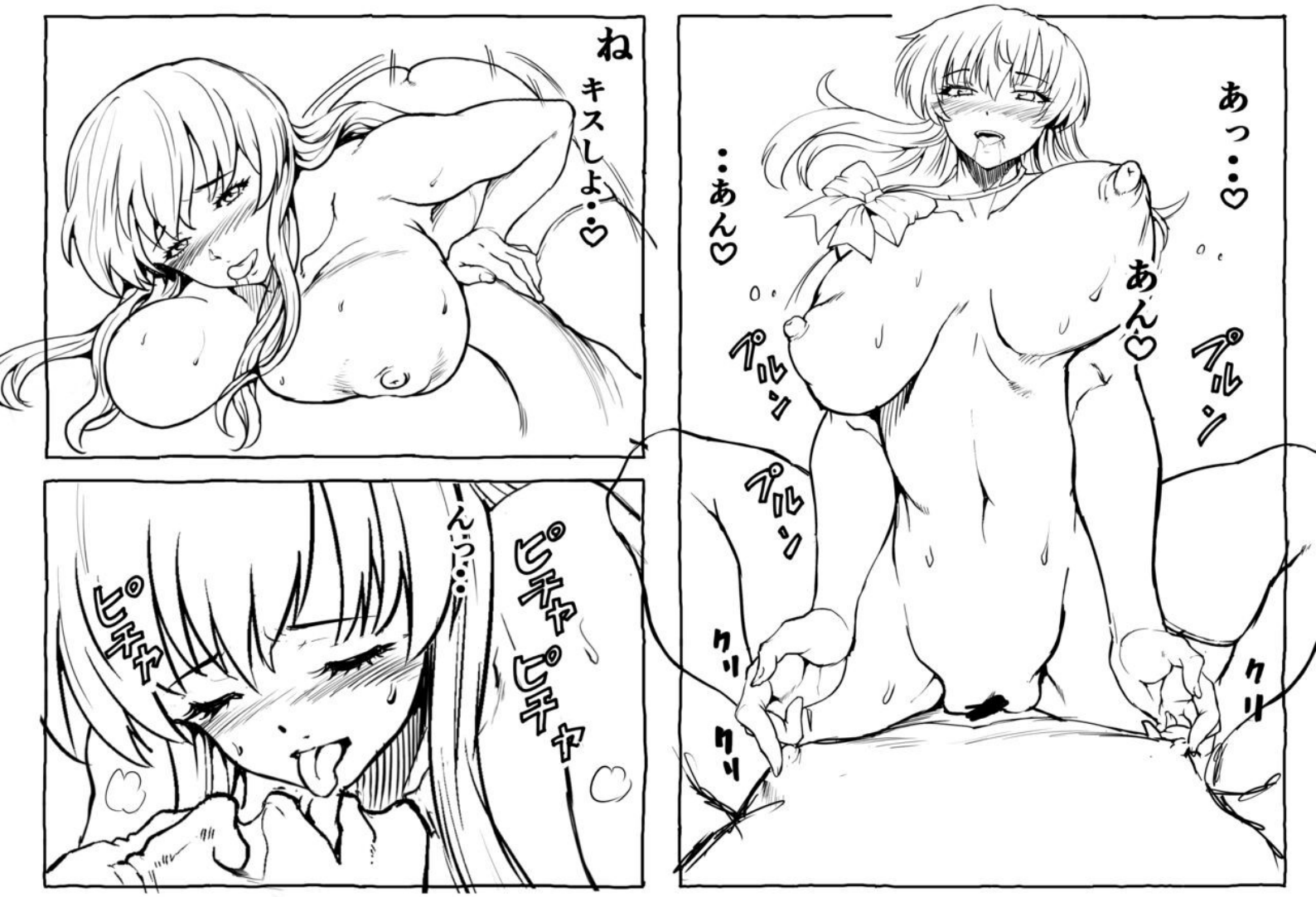
腰が止まらないよぅ…
ああ・・
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ヌチャ
ヌチャ
ヌチャ
ヌチャ
グリ
グリ
グ


みて・・
根元まで
ずっぽし・・・
ハァ
ハァ
ハァ
あん・
あ・・・
パン
パン
パン
パン
パン
パン
あ・・・
ああ・・もうダメ・・
イキそう・・・

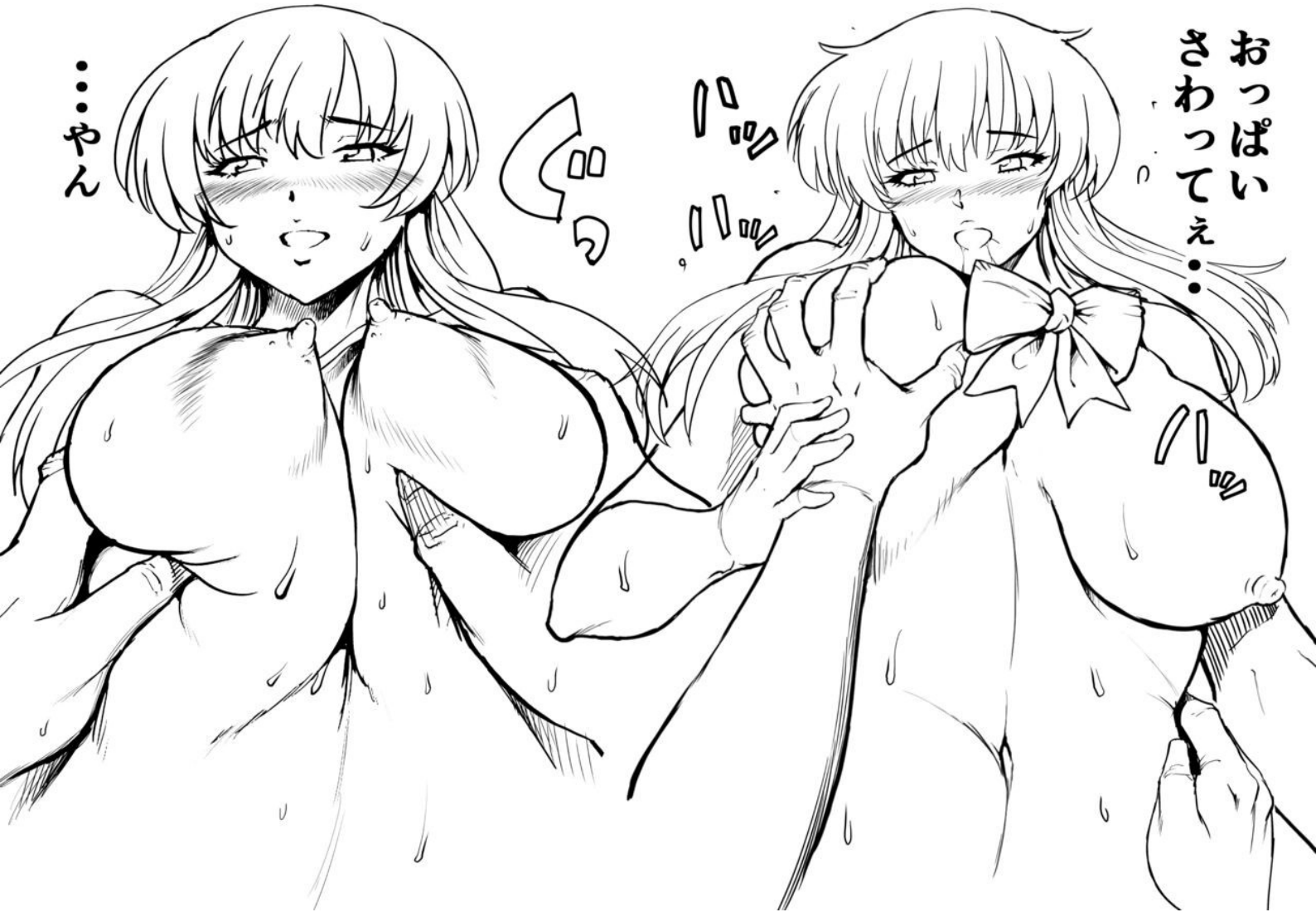

ゴポォ…
ビクッ
ドロォ
あー…
う…くっ…
ドクッ
ドクン
ドクン
ビクッ
ビクッ
ビクッ
プル
プル

気持ちよかった？
ずいぶん溜まってた
みたいね
私も久々だったから
とっても感じちゃった…
ね
もう一回する？


あは♡
おそうじしてたら
もう勃ってきてる・・
特別に拘束解いて
あげるから
君もいっぱいしよ・・
ね♡
クチュ
ズプッ。


あっ・・♡
プルン
あん♡
・・あん♡
プルン
プルン
クリ
クリ
クリ
ね
キスしよ・・♡
ーんっ・・・
ピチャ
ピチャ
ピチャ

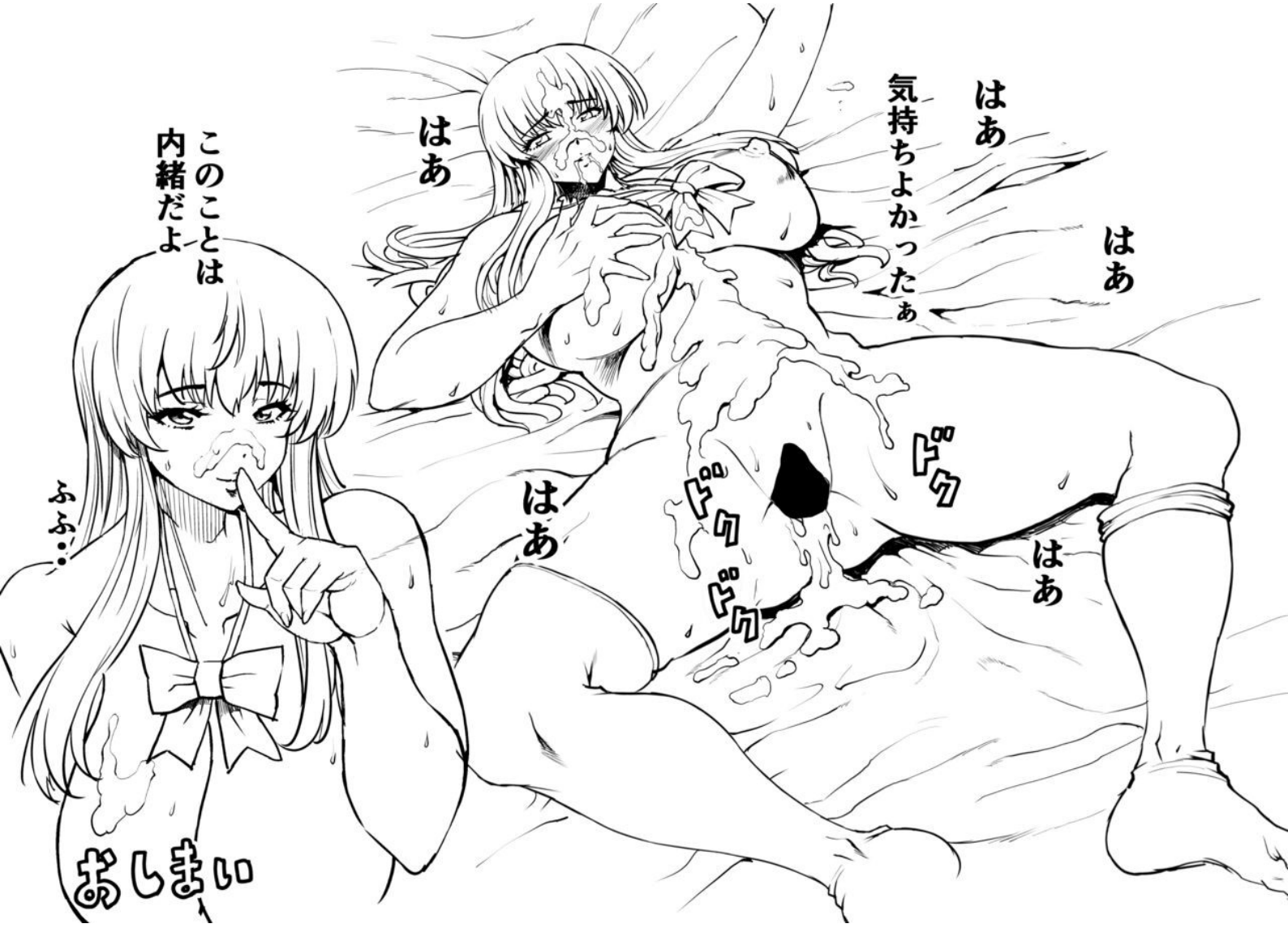
んっ…
んゅ…
んっ…


おっぱい
さわってぇ・・
ぐっ
・・・やん

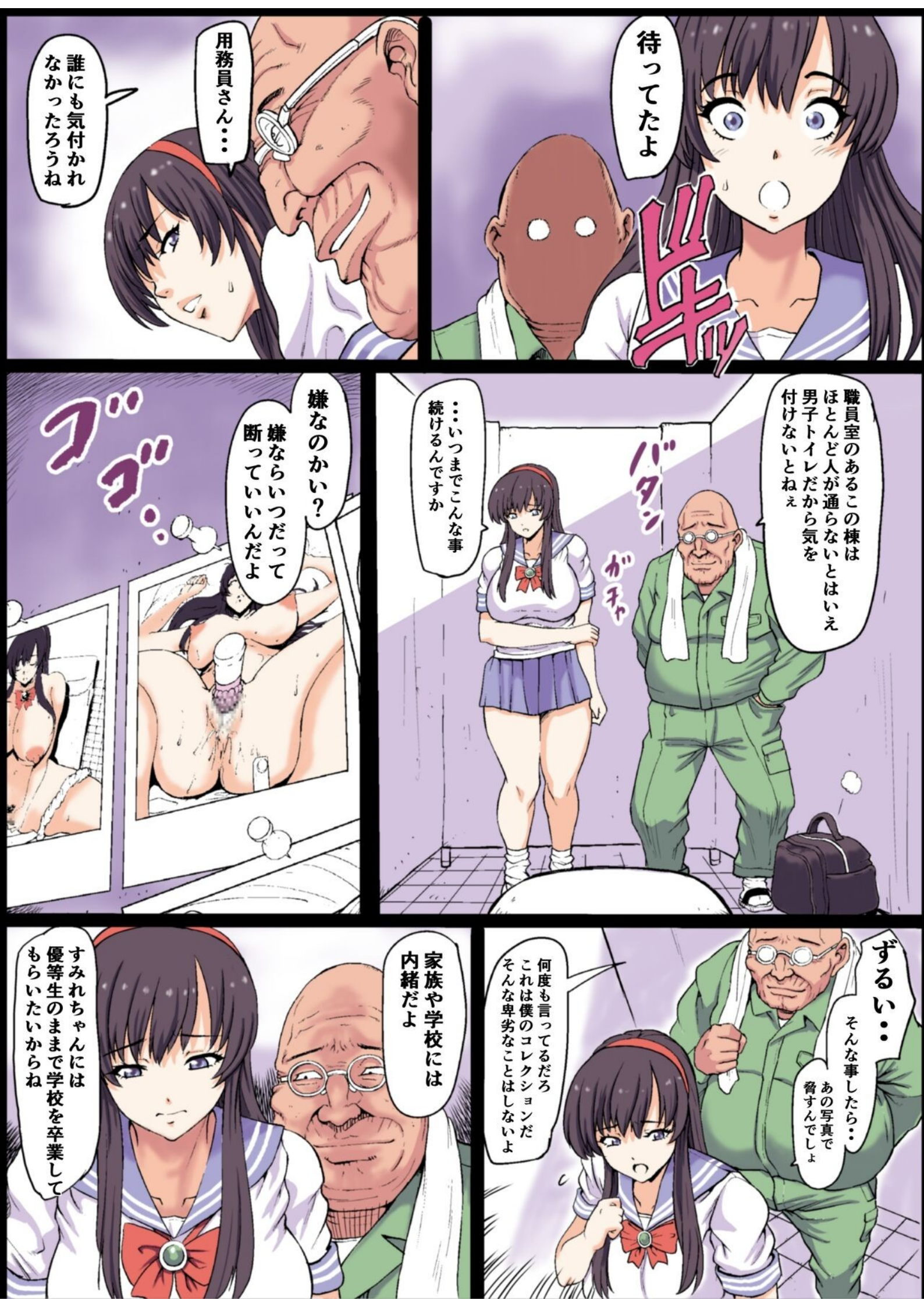
ぎゅ

ちゅっぱ♥
ちゅっぱ♥
ちゅっぱ♥
あっふぅ・・
ギッシ
ギッシ
ギッシ
ギッシ
はっ
やん
はっ
最高・・お・・

…イっ…
イク…
イクっ
ヨプ
イク…
ヨプ
ヨプ
ヨプ
イクっ
あっ…！
ブルル
ブルル
ドピュウウ
ビク
ビク
ビク


はあ
気持ちよかったぁ
はあ
はあ
このことは
内緒だよ
ドク
ドクドク
はあ
はあ
ふふ…
おしまい

ドキ
ドキ
キョロ
キョロ
スッ
ギィ…
ゴゴゴ
職員用便所
ゴォォ


待ってたよ
ビキッ
用務員さん・・・
誰にも気付かれなかったろうね
職員室のあるこの棟はほとんど人が通らないとはいえ男子トイレだから気を付けないとねぇ
バタン
ガチャ
・・・いつまでこんな事続けるんですか
嫌なのかい？
嫌ならいつだって断っていいんだよ
ゴゴ・・・
ずるい・・
そんな事したら・・
あの写真で脅すんでしょ
何度も言ってるだろこれは僕のコレクションだそんな卑劣なことはしないよ
家族や学校には内緒だよ
すみれちゃんには優等生のままで学校を卒業してもらいたいからね

・・・もういいです
さっさと済ませて
ふふ・
物分かりがよくて
助かるよ
ガチャ
最近あんまり
抵抗しなくなったねぇ
段々こういうの
好きになってきたのかな
い・
言ったでしょ
きゅ♥
ほう
あ・
クリ
早く終わらせたい
だけです・・こんな事・
ん
グリ

はじめて会った時も
こんな風に自分のカラダを
まさぐってたね
驚いたよ学園一の優等生が
トイレで隠れてこんな秘密が
あったとはね
ズッ
クチュ
きゃ
誰かが来るって
思わなかったのかな・・?
にちゃ
クリ
はむ
はむ
それとも
スリルを楽しんでた
のかい?
ぐりぐり
やっ・・!
やめて・・!
なんの・
まだまだこれから・

ガチャ
何度見てもソソるカラダだ
最近の学生はどんどん発育が良くなっておる
あん
またちょっと生えてきたようだねぇ
剃ってあげよう
や・・！やめて!!
シャカシャカ

きゃっ
シュー
ほ〜れ♪
よぉーく馴染ませて
こ〜ねこ〜ね・と♪
シュ
グリ
プル
プル
プル
くく…
動いちゃダメだよ
パックリいっちゃう
からね〜♪
ジョリ
ジョリ
ジョリ
ジョリ
ジョリ
ジョリ
ジョリ
ジョリ
あ
あ・
ペシャ
くく・

ほぅ〜ら
つるつるになった
ぷっくり肉厚マンコが
丸見えだ
ハァハァ…
ん・・
・・ん
おやおや
せっかくキレイに
してあげたのに
あっという間に
ぐちょぐちょ…

そら
すみれちゃんの
大好物だよ
すみれ用
はやく
挿入てほしい？
まずはたっぷり
濡らさないとね
上のお口で
ふふふ・・
おっきなオッパイだからね
おちんちん挟んでも
十分楽しめそうだね
まだ試した事は
ないのかな？
フー
フー
フゥー
ちゅぱ
ちゅぱ
もみん
もみん
膣圧だけで
出し入れできるわい
もうすぐこいつが
奥深くまで挿入るんだ
根元の方まで舐めて
もらおうか
たぷ♥
たぷ♥
おやおや
どんどん呼吸が早く
なってきてるね
乳首もコリッコリ
期待にヨダレが
止まりません
・・・ってか？

にちゃあ
ズ…
ビーフ
ビーフ
ズ…
スリチュウ
すみれ用
カチャ
カチャ
カチャ
にゅり
にゅり
にゅり
ガチャ
ジュブ
ジュブ
ジュブ
すみれ
あ
ブルル…

ズッ
ズッ
ズッ
ウィーン
ウィーンウィーン
ガク
イヤ…
ガク
あ…
ガク
イヤァ
あっ
あああああああっ
ほっほ
こりゃ面白い
ほれ
もっと噴いて
みせろ
ヤンヤアアア
ビク
ビク
ビク

ガチャ
さて
ガチャ
フー
フー
フー
フー
フー
フー
ガチャ
ガチャ
ガチャ
ガチャ
ペッチャ
ピッチャ
もみ
もみ
もみ
ピチャ
ズ
ズズ

トロォ…
シュー シュー
んふ…
スプ…
んんんんん…
スプププ…
ンッ
ンッ
ピチ
ピチピチ
グル
スッポ
スッポ
ピチピチ
ベロン
ベロン
ハァ
ハァ
ハァ
ビクビク…
ンッ…

ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
ウィーン
ウィーン
ギシ
ギシ
ギシ
ギシ
ウィーン
ウィーン
へっへ
なかなか
難しいもんだな
ギシ
ギシ
ギシ
ギシ
ボテ
ボテ
ボテ
ボテ
たっぷり
味わえ
おおお
おおお
ビュ!!
ビュ
ビュ
ビュ
ビュ

ウラスジに
響くわい
締りも
申し分ない

つかみがいのあるいいケツだ
こっちの穴でも感じる事が出来ればさらに楽しみが拡がるだろうよ
君がまだ気付いてない快楽が体の中に眠っているはずだ
もっとも・・・一度踏み込んでしまえば後には戻れんがね
パン
プルン
あ・・・
イク
パコ
はあ
はあ・・!
・・はあ
う・・っ

あッッ！
ブルッ
ビクッ
ビクク…
キーン
コーン
おや
もう時間か
ハァ
ハァ
ハァ
ビビュ!!
ドクン
ドクン
ドクン

カシャ
カシャ
カシャ
へっへっへ・
またコレクションが
増えたねぇ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ドロォ
明日も待ってるよ
すみれちゃん
秘密の写真　おわり